



公立大学法人 公立鳥取環境大学 SDGs 取組宣言

公立鳥取環境大学は、2001年の設立以来、「人と社会と自然との共生」の実現に貢献する有為な人材の育成と創造的な学術研究を行うことを基本理念として教育、研究、大学運営を行ってきました。

一方、持続可能な開発目標（**Sustainable Development Goals** : SDGs）が2015年9月の国連サミットにおいて全会一致で採択され、先進国を含む国際社会全体の開発目標として、2030年を期限とする包括的な17の目標、その下に詳細な169のターゲットが設定されています。17の目標は社会的、経済的、環境的課題を幅広くカバーし、目標年次も2030年と長期にわたることから、その実現に向け、すべての関係者の参画を呼びかけています。特に大学は、教育、研究、大学運営の面からSDGsの達成に大きな役割を果たすことが期待されています。

SDGsの趣旨は本学の理念に一致するものです。そこで大学に期待されている役割を果たすという観点からSDGsの取組に参加することとしました。これまで培ってきた本学の教育、研究等の力を活用し、SDGsの達成に貢献するため、今後次の取組を行います。

- 持続可能な開発目標の原則を支持し促進する
- 持続可能な開発の課題への解決策を提供する研究を行う
- 持続可能な開発の諸課題を解決するための知識とスキルを有する人材育成を行う
- 環境的に持続可能で、多様な個性や背景を持つ人々を大学の一員とし、またすべてのステークホルダーと共に歩む大学運営を行う
- 持続可能な開発目標を支援するための活動について報告する

2018年10月10日

公立大学法人 公立鳥取環境大学

理事長 江崎 信芳